

秋経協・二水会第109回（7月）例会

令和5年7月12日（水） アルバートホテル秋田

秋経協・二水会第109回（7月）例会がアルバートホテル秋田で18名が参加し開催された。中田代表幹事が開会挨拶を行い、MLBオールスターゲームに出場している大谷翔平選手がホームランを打つ可能性をチャットGPTに質問し、確率75%と回答したが基本となるデータに誤りがあったことを紹介し、今後AIが経済活動を担っていくと思うが最後は人が重要となると述べた後、7月例会の講師を紹介した。



佐瀬講師

講師は中小企業診断士の佐瀬道則氏。地元金融機関退職後、2009年、経営コンサルタントとして独立。個別企業や商店街の経営実態分析・診断・提言など豊富な現場経験を活かしながら活躍中。現在、M.Sコンサルティング代表、（一社）秋田県中小企業診断協会 代表理事・会長。

講演テーマは「人事と労務と人財について」。最近の雇用情勢や労務管理と人事管理の違いを説明した後に、人材マネジメントの必要性和企業にもたらす効果や人材マネジメントをより効果的にするために有効なフレームワーク、①人材採用②人材育成③人事評価④人材配置⑤退職といった人事管理上のフェーズごとのマネジメントポイントなどについて、これまでの中小企業診断士としての経験を踏まえ分かりやすく解説いただき、また、関連する参考書籍を紹介いただいた。

まとめとして「4つの人材」（人財・人材・人在・人罪）という言葉を紹介し、大切なのは上司として組織としてあらゆる場面で人財的な思考のできる「ヒト」を育てていくことであり、どんなにIT化やDX化が進もうと何事も「動かすのは人」であることに変わりはなく、これを外して経営は語れない。いま一度「ヒト」という目線から経営全体を見直してはみてはどうかと結んだ。

秋経協・二水会9月例会は、企業視察となります。今回は「再生」に取り組んでいる企業を2社ご紹介したいと思います。